ねんりんピック秋田2017
健康マージャン交流大会
全国の代表選手が集い腕前競う

健闘した秋田県選手団

ねんりんピック秋田２０１７の健康マージャン交流大会が、９月10日・11日に鷹巣体育館で行われ、全国から68チーム、２７１人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

頭脳のスポーツ 健康マージャン

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心に、あらゆる世代の人たちが、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典です。今年の第30回大会が秋田県で開かれ、県内の17市町村で26種目の交流大会が開催されました。

北秋田市で開催された「健康マージャン」は「お金を賭けない、お酒を飲まない、たばこを吸わない」をモットーに「仲間づくり、生きがいづくり、健康づくり」に役立つ頭脳のスポーツです。

多彩なイベントで 全国の選手をおもてなし

10日の開始式では、大会会長の津谷市長が「選手の皆さんを見ていると、とても元気で若々しく、生き生きとしていて、しっかりと健康マージャンの効果が表れていると確信している。体調には十分に気を付けて、勝利を目指して頑張ってもらいたい」などと全国から集まった選手と観客を歓迎しました。

また、選手を代表して、佐藤充義さん（元町）が「全国の選手との出会いを喜び、交流を深めながら、思い出の秋田大会となるよう精一杯競技することを誓います」と力強く宣誓しました。

このあと団体戦の競技が始まり、各テーブルからは「リーチ」「ロン」などと威勢のいい声があがり、白熱した対局が展開されました。対局の合間には、お互いのふるさとの話題などで交流を深めていました。

また、アトラクションとして、比立内駒踊りや綴子大太鼓が披露されたほか、プロ雀士との対局や内陸線車内の対局、健康体操、きりたんぽの振る舞いなど多彩なイベントも行われ、大会を盛り上げました。

秋田県からは6チーム、24人が出場し、そのうち北秋田市からは11人が出場しました。1日目の団体戦ではFチームの11位が最高で入賞（8位以内）には届かなかったものの、2日目の個人戦では、小林一徳さん（米内沢新町）が県勢最高得点で7位入賞に輝きました。

【大会結果】《団体戦》▽優勝　神奈川県▽準優勝　石川県▽第3位　札幌市《個人戦》▽〈マタギブロック〉優勝　鈴木力（札幌市）▽〈森吉山ブロック〉優勝　若原順子（北九州市）▽〈あじさいブロック〉優勝　兵頭英昭（愛媛県）▽〈大太鼓ブロック〉優勝　篠山良治（滋賀県）

しゃろーむ太鼓

第15回
北秋田市たかのす
太鼓まつり

たかのすふるさと太鼓

第15回北秋田市たかのす太鼓まつりが、9月10日に大太鼓の館野外ステージで開かれ、趣向を凝らした迫力ある太鼓演奏や優雅な踊りを見ようと、市内外から大勢の観客が詰めかけました。

圧巻のバチさばきと リズムで観客を魅了

まつりは、綴子下町大太鼓保存会がオープニングを飾り、市内の各団体が迫力あるバチさばきと軽快なリズムで観客を魅了したほか、子どもたちも、練習の成果を披露しました。

また、ゲスト出演の小馬崎達也&パンゲアが、ギターや篠笛などの幻想的な音の響きで会場を包み込んだほか、仙臺（せんだい）すずめ踊り「伊達の舞２０１７」が、一糸乱れぬ優雅で可憐な舞を披露しました。さらに、太鼓祭日本一の創作和太鼓集団「打鼓音（だこおん）」が、圧巻のバチさばきと迫力ある太鼓のリズムを披露し、会場には大きな歓声と拍手が響き渡りました。

4張の大太鼓と競演

フィナーレでは、綴子上町・下町大太鼓保存会が合同演奏を披露。4張りの大太鼓が雷鳴のような轟き音で観客を魅了したほか、出演した各団体の演者たちが、一斉に太鼓を打ち鳴らし盛大にまつりを締めくくりました。

合川太鼓保存会

綴子婦人会

打鼓音